

令和6年度 文京区立窪町小学校 授業改善推進プラン 第6学年

	授業における課題 (児童の実態・教師の指導上の課題)	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○「話すこと・聞くこと」のスピーチやインタビューにおいて、目的を意識し、必要な情報を聞き出したり、記録したりして考えを広げまとめられるようになること。 ○「書くこと」において、筋道の通った文章になるように、事実と感想、意見とを区別し、文章全体の構成や展開を考えられるようになること。 ○「読むこと」において、文章全体の構成を捉えて要旨を把握し、それを手掛かりに、論の進め方について考えられるようになること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○話の目的は何か、自分はどうのような情報を求めているのかなど、聞く内容等を整理する時間を設ける。また、自分と相手の考えを比較し共通点や相違点を整理できるようワークシート等を活用し、自分の考えと比較する経験を積ませ、中学校へとつなげていく。 ○「考えと理由や事例」、「原因と結果」、「疑問と解決」などのつながりや配列を意識させたり、構成メモを活用したりしていく。また、ペアやグループで書いた文章に対する感想や意見を伝え合う時間を確保し、自分の表現に生かせるようにしていく。 ○書き手がどのような事実を理由や事例として挙げているのか、どのような感想や意見などを持っているかなど、読む視点を例示し学習を進めていく。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ○児童の気付きを生かして学習問題を設定すること。 ○調べ学習において、気付いたことや分かったことを、工夫してまとめられるようになること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習問題に繋がるような資料や発問、予想される児童の発言を事前に学年で検討していく。 ○資料を活用する際は、必要な情報を適切に調べまとめさせる。そのために取捨選択しなければならない情報の視点を児童に指導していく。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○作図や数字、記号の書き方、小数点の打ち方など、正しい書き方を定着させること。 ○式の意味を考えたり、筋道を立てて考察したりして、説明できるようになること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○正しく書くことの意義などを伝えたりして、毎時間声掛けをしていく。 ○自分の考えを説明するときに、式、図、言葉などを用いて考えられるよう指導していく。考えを共有する時間を確保し、思考を広げ深められるようにしていく。また、日常生活と関連付けることで、生活の中で役立つことを実感させる。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ○自分が考えた予想や実験計画を検討するときに、予想の根拠が正しいと言えるか、この実験計画で自分の予想が確かめられる方法かなど、より妥当な考えをつくり出す力を身に付けていくこと。 ○学習で分かったことだけでなく、自然事象を日常生活と関連付けた振り返りを書くことができるようになること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○予想や実験計画を個人で考える時間やグループで考えを共有する時間を確保したり、批判的思考を促す発問をしたりすることで、より妥当な考えをつくり出せるようにしていく。 ○児童の思考を途切れないようにするために、授業終末に、振り返りの時間を確保していく。振り返りの視点を与え、日常生活に関連付けた振り返りを書くことができるよう習慣付けていく。また、児童に振り返りの意味(自分自身の理解度の確認・自分の考えの見直し)を指導していく。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ○体の使い方や動かし方など、どうしたらできるようになるかを意識し、運動すること。 ○授業の中で得たことを日常生活に生かし、運動の機会を確保していくこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ○体の使い方や動かし方などをタブレット等で客観的に見て自己分析する時間、課題を解決していくために友達と見合う時間の両方を設定する。児童が自ら考えたり工夫したりしながら動きの課題を解決できるよう習慣化していく。特に、器械運動は経験に差があるため、このような機会を多く設けていく。 ○日常生活につながる学習内容を設定したり、休み時間等で活用したりする。場の確保、下学年に教える活動等で、運動の機会を確保したり、運動の楽しさに気付かせたりしていく。

道徳	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えを共有するだけでなく、友達のことを聞いた上で、自分の考えが変容したかどうかなど、多様な考え方を認めていくこと。 ○授業を終え、感じたことや自分の考えを大切に、自己を見つめていくこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ○毎時間、個人→他者との交流→個人という流れで授業を展開し、話し合いの時間を必ず確保していく。 ○毎時間の終末で、自己を見つめることができるように、振り返りの時間を長く確保し、全体で共有できるようにしていく。
総合	<ul style="list-style-type: none"> ○収集した情報を整理する段階で吟味することの必要性について考えられるようになること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○インターネット等で大量な情報に接する中で、情報をそのまま客観的な事実として捉えるのではなく、どのように入手した情報か、その情報の正確性はどうかなどの視点を与え、情報を吟味することを習慣化する。
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ○新しい材料や技法に興味・関心をもって意欲的に活動に取り組んでいる。既習事項を生かして自分らしい工夫を作品に取り入れて工夫する姿が見られるが、工程の多い作品などで技術的な個人差も大きい。 ○表現を広げたり深めたりする活動で、発想が出ていく、集中できないこともある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童の実態に合わせて題材設定をし、児童が主体的に取り組めるように教材研究を行い、場の設定や授業づくりを工夫する。また、個別最適な指導ができるよう ICT を使用する授業では支援員の協力を依頼する。 ○技法や材料、また内面からのアプローチの両面から、作品に対する子どもの思いが深まるよう、個々に合わせた支援を行っていく。学級担任とも連携をとり、児童の発達段階や個性を見極めて支援をしていく。一人一人の思いに寄り添った声かけを行う。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ○既習事項を生かして学習できる題材構成にすること。 ○一人一人に基礎的・基本的な知識及び技能を定着させること。 ○導入的な学習の中で、「生活の営みに係る見方・考え方」の視点を意識化させること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○題材ごとのつながりを明確にして、指導を進める。 ○グループ指導・個別指導などを適切に取り入れたり、分かりやすい掲示資料や実物見本、映像等を作成し有効活用したりする。 ○興味・関心を引く教材を用意するとともに、自分の家庭を意識しながら課題解決ができるよう指導を進める。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ○表現の技能は、学年ごとの積み重ねで身に付いている。児童が自らの思いや意図が伝わるように、表現の工夫ができるようにすること。 ○楽曲の特徴や演奏のよさを理解して、言葉で表し、聴き深められるようにすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童自らの思いや意図を言葉で発表し、互いに伝え合い、実際に音を出したり歌ったりして試しながら、様々な表現方法を繰り返し、児童自ら探っていくようにする。 ○楽曲を聴いて想像したり、感じ取ったことの原因を音楽の中から見付けたりする活動を通して、知覚・感受したことを自分の言葉で伝えたり、文章に表したりすることができるようにする。
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ○「聞くこと」において、既習の英単語や英語表現から場面や状況などを想像しながら、文章全体の意味をおおむね理解すること。 ○「話すこと」において、場面や状況などに配慮しながら、自分の気持ちや考えなどを既習の英単語や英語表現を用いながら相手に伝えること。 ○中学校へ向けて学習内容が徐々に難しくなっていくため、学習定着度を高め、保障すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教師は扱う英語表現を精査し、既習の英単語や英語表現は都度確認する。また、児童に英語を聞かせるときには動画や写真、デモンストレーションなどを見せることで、児童には場面や状況などを想像しやすくし、文章全体の意味をおおむね理解できるようにする。 ○基本的な英語表現を歌やチャンツなどで児童に慣れ親しませ、児童が場面や状況に応じて身に付けた英語表現を使ってみたいと思えるような課題や活動を意図的に授業の中に取り入れる。 ○ICT教材やデジタル教科書、発表用スライドなどを有効的に活用し、児童が自ら学び方や学習内容を選べるようにし、個々の学びをより深められるようにする。